

インタビュー Vol.05

「むらコトアカデミー」をきっかけに、学生団体「まとい」
を立ち上げ事業に参画

里見佳香さん（大学生、女性、奈良県）

関わる地域：奈良県下北山村



Q 現在、地域のどのような活動に関わっていますか。

A 奈良県下北山村にて、大学で学んだ専門知識を用いながら、「まとい」のメンバー

とともに空き家改修事業に関わっています。

Q 地域の活動に参加しようと思った経緯や目的を教えてください。

A 大学で空間デザインを専門として建築学を学びながら、アルバイトとして設計士事務所で働いています。事務所の設計士の方が今回空き家改修事業に関わっており、その縁で参加することになりました。

Q 継続的に地域と関わりたいと思った理由を教えてください。

A 大学で学んでいるとはいえ、実際の家屋を解体、改修する経験は初めてであり、実物を見る良い機会になると思いました。今回の事業を、大学で専攻している地域の空間デザインの卒業テーマにもしています。

Q 地域の活動に継続的に参加してみて、地域に対する印象は変わりましたか。

A 学生の私が初めて村に行くことには不安もありましたが、村の方はとてもフレンドリーに接して下さり、歓迎されていることを実感しています。

Q 今後、地域とどのように関わっていきたいですか。

A 空き家改修事業終了後も継続的に関わりを持ち、将来的には移住・定住も含めて考えていきたいと思っています。

Q

これから地域との関わりをつかっていきたいと考える方々に対して、メッセージをお願いします。

A

村の方々は、都会から来た私たちに、とても親切にしてくれます。家でも学校でもない、「お帰り」と言ってくれる、もう一つの居場所ができたと実感しています。ぜひ地域の方々と一緒になってまちづくりをしていきましょう。



イベントに参加した1週間の様子

初日	現地到着後作業開始 (一週間のスケジュール確認)
2日目 3日目 4日目 5日目 6日目	空き家改修作業 地域の方々のイベントに参加したり、みんなでBBQをして地域の方々と交流しています。
最終日	17時に作業を終了し帰宅